

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 多機能型事業所リズム 保護者等数 21 回収数 18 割合 85%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17		1				リズムの室内だけでなく、併設されている学童も利用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	13		1	4		・職員人数が分からない。 ・担当者支援会議に人数調整できない理由で出席してもらえなかった	毎月発行される便りに職員の顔写真と自己紹介を入れたり、新職員が入ってきたら追加発行したりして知らせるようにします。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16				2		階段の昇降では、職員が付き添ったり、階段での昇降が難しい時には、併設されているデイサービスのエレベーターを使用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17				1		新型コロナウイルスの感染予防のために、机やイスなどを定期的に拭いて消毒をしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	17				1		送迎時や電話、コロナの状況が落ち着いている時期に面談などをもち、説明を行っています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	1		2	1		保護者からの聞き取りや関係事業所との担当者会議などで、ニーズと課題のすり合わせをし、子ども一人ひとりに必要な支援を設定するようにしています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17				1		児童、保護者のニーズを聞き取り、組み込むようにしています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	15				3		子どもが楽しんで取り組めるような活動になるように、職員でアイデアを出し合って工夫しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため						コロナの影響で出来ませんでした。落ち着いたら交流を考えていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	18						契約時に読み合わせをしています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	16		1	1			面談などで直接読み合わせをしていきたいと思っています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	6	1	2	9			気軽に参加できるような会を企画していきたいと考えています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	1					連絡ノートや電話、LINEにて、日常のことを密に情報共有をできるようにしています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13	2	1	2		・話を聞く機会がない。	コロナで実施できず申し訳ありません。個別支援計画書の説明と共に行ってまいります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため						コロナの影響で実施できていませんが、コロナが落ち着きましたら行いたいと思っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
提供	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15	1		2		・入水できるスタッフを増やし、その子のレベルに合わせた指導をしてほしい。	職員の水泳指導研修や、スイミングのコーチとの協力によって、子ども達のレベルアップにつなげていきたいと思ひます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	17	1					子どもとは絵や写真、マカトサイン等で、保護者の方とはLINEや連絡ノート等で連絡を取り合っています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	16	1		1		・楽しみにしています。	ありがとうございます。もっとホームページを活用し、リズムでの取り組みなどの情報発信をしていきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	17	1					個人情報は鍵付きの書庫で保管しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	10	1		7			マニュアルはありますが、保護者への周知が不十分だと思われるので、まとめたものを配布し伝えて参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10	1		7			年に2回避難訓練を実施していますが、今年はコロナの影響もあり職員のみ参加となりました。子ども達とは「防災週間」として身を守る方法を学びました。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	17	1				・時々イヤがる。 ・毎回楽しみにしています。 ・楽しみにしているのでこっちは嬉しいです。	楽しみにして頂けてとても嬉しく思ひます。子ども達が安心して過ごせる場所を提供できるよう職員みんなで支援していきたいと思ひます。
	23	事業所の支援に満足している	17	1				・通うようになり、成長が見られます。ありがとうございます。 ・いつも助かっています。 ・今は、週に1回なので、もっと通えたらいいなと思ひます。	ありがとうございます。もっとホームページを活用し、リズムでの取り組みなどの情報発信をしていきます。。これから、子ども達が楽しく安心して利用できるように努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 多機能型事業所リズム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	机などの配置によって活動の場所が分かりやすくなるようにしている。	人数が多くなってくると狭く感じたり、活動の内容で机が邪魔になってしまう。配置を考えてスペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切である	○		人員数が欠けることがないようにシフトを組んでいる。	利用する子どもの人数に対して、職員の方が多くこともあるのでバランスをとっていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		荷物を置く場所、活動する場所など視覚的に分かりやすくなるようにしている。また、手洗い場には踏み台を置いている。	イラストなどを活用することで分かりやすくなっているが、おもちゃの片付け場所の構造化を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染症予防のために定期的に拭き掃除と常時噴霧による除菌を行っている。また、活動の場所を分かりやすくしている。	手洗い場が室内にあるのですぐに手を洗うことができている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務に対する話し合いを適宜行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		昨年度の評価表をもとに改善を行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度の評価の結果をホームページに掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に評価を聞き、職員教育や業務改善につなげている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月2回のペースで研修を行っている。	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		必要な支援を提供できるようにアセスメントを行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			子どもの実態を正しく捉えられるようにするため、よりよいツールを探している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者や子どものニーズを把握し、必要な支援を選択している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	17	<input type="radio"/>		時間を決めてミーティングを行っている。送迎場所と時間、子どものことを情報共有し、その日の支援の内容と役割分担の確認を行っている。	
	18		<input type="radio"/>	待機職員で振り返りのミーティングを毎回行い、支援の内容や子どものことについて話し合っている。内容は日報に記録している。	送迎に出ている職員もいるため全員でミーティングをもつことができていない。情報共有ができるようにする。
	19	<input type="radio"/>			
	20	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	<input type="radio"/>		児童発達管理責任者が出席している。	
	22		<input type="radio"/>		連携することを望んでいる。
	23				受け入れていない。
	24				受け入れていない。
	25		<input type="radio"/>		行う必要があると感じているが行えていない。
	26		<input type="radio"/>		行う必要があると感じているが行えていない。
	27		<input type="radio"/>		コロナの影響により実施されていない。
	28		<input type="radio"/>		行いたいと思うがその機会をもてずにいる。
	29		<input type="radio"/>		実施されていれば是非参加したい。
	30	<input type="radio"/>		連絡ノートや電話を活用し、共通理解を図っている。	
31		<input type="radio"/>		今年度はコロナの影響で実施することができなかったが、	
保	32	<input type="radio"/>		書面を読み上げて説明している。	
	33	<input type="radio"/>		署名・押印を得ている。	
	34	<input type="radio"/>		連絡ノートや電話を活用し、支援をしている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	35		○		コロナの影響により実施していない。
	36	○		事実を把握し、迅速かつ適切に対応している。	
	37	○		毎月、便りを発行している。必要に応じてLINEも活用している。	
	38	○		鍵の閉まるロッカーを活用している。	
	39	○		思いを汲み取ることが出来るように、話を丁寧に聞いている。	
	40		○		コロナの影響により実施していない。
非常時等の対応	41		○		策定してあるが、十分に保護者へ周知ができていない。保護者用として配布する予定である。
	42	○		年2回行っている。	
	43	○			
	44	○		食事やおやつなど、子どもに提供する前に確認をしている	
	45	○		記録を残し、それを基に事例集を作成し、共有している。	
	46	○			
	47	○		保護者へ説明し同意を得た上で行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。